

江戸の社会と文化・学問

～江戸時代に生きる人々は幸せだったのか？～

「江戸の社会と文化・学問」(日本文教出版)

本単元で育成する「21世紀型スキル」

◎論理的思考力・批判的思考力

1 単元設定の理由

【単元について】

本単元は小学校学習指導要領社会第6学年の目標及び内容(2)ア(ク)(シ)及びイ(ア)を受けて設定したものである。

江戸時代の町人や百姓の生活の様子、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、様々な資料を活用する技能やそれらを基に思考したり表現したりする力を育成することができる。また、江戸時代の人々の幸福度について、根拠を明確にした議論を行わせることで、本校が目指す「21世紀型スキル」の論理的思考力や批判的思考力を育成するのに適した単元といえる。

【児童の実態】 6年1組12名(男子4名、女子8名)

①本単元にかかわる児童の実態

「歴史の学習に興味がある」と回答した児童は91%、「歴史の内容について議論することは楽しい」と回答した児童は83%であり、比較的関心が高いことが明らかになった。一方で、様々な社会的事象を比較・関連させながら自分の考えをもち、表現する力には弱さが見られる。

②学校図書館活用にかかわる児童の実態

「図書資料やICT機器を活用することで自分の考えを広げている」と回答した児童は100%であり、学校図書館の活用が一定の効果を上げていることが明らかになっている。

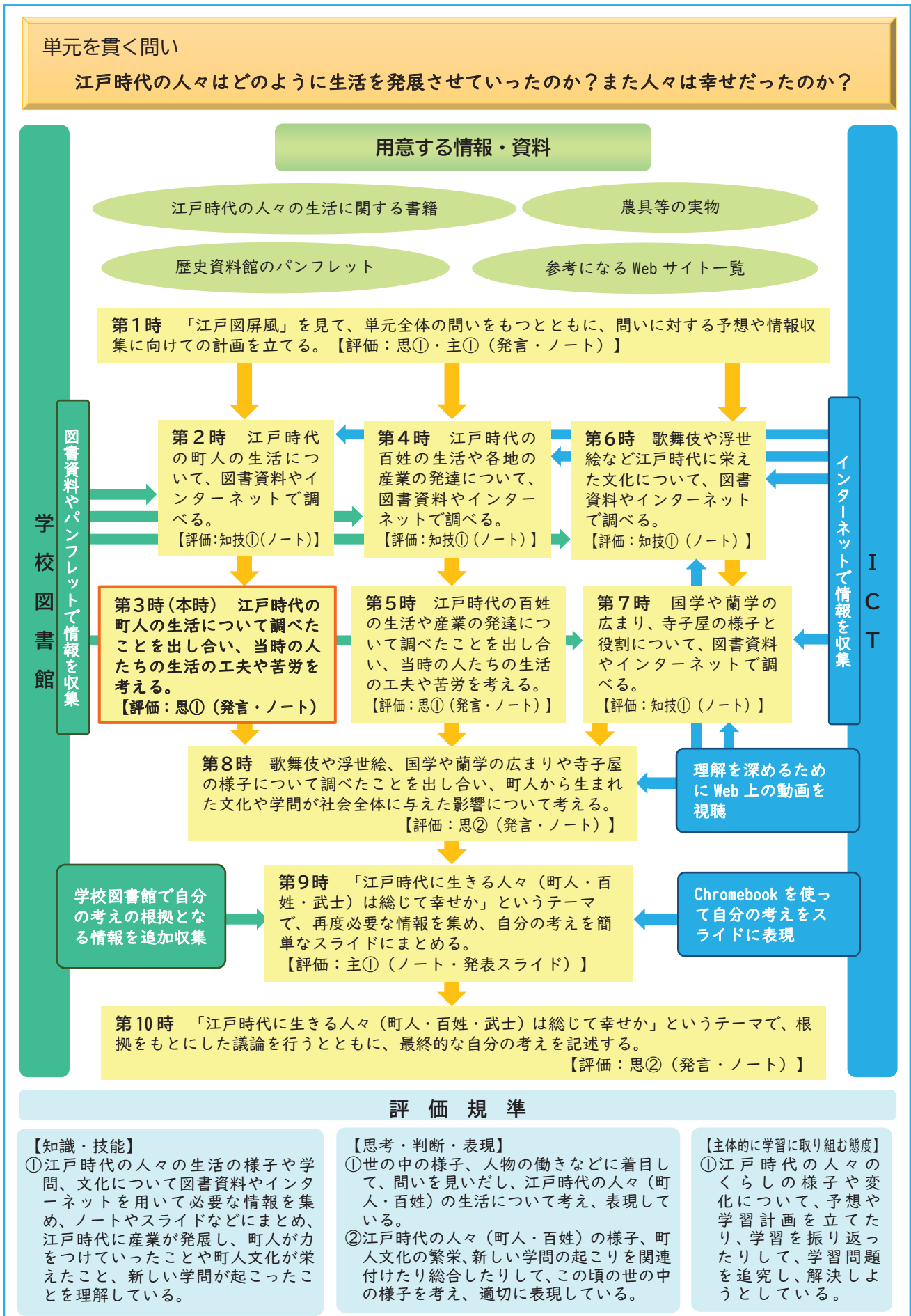
【指導に当たって】

- ・単元全体を通して、「江戸時代に生きる人々は幸せか」という問いを設定する。単元前半でこの問いを示すことで、主体的に町人や百姓、武士のそれぞれの立場の人々の生活について調査を行おうとする意欲を高める。
- ・江戸時代の人々の生活に関する書籍を整備し、児童が自らの問いを解決していけるような環境を整える。
- ・それぞれの立場(町人・百姓・武士)の幸福度を数値化するとともに、なぜその数値にしたのか、自分の考えを記述させる場を設ける。
- ・単元の最後に、「江戸時代に生きる人々は総じて幸せか」というテーマで再度議論を行わせることで、様々な社会的事象を比較・関連させたり自分の考えを論理的に表現したりする力の育成を図る。

【単元の目標】

- 江戸時代の町人や百姓の生活の様子、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について調べ、産業が発達したこと、流通経路の整備や販売の工夫により、町人が力をつけていったこと、町人の文化が栄え、新しい学問が起こったことを理解するとともに、当時の様子や人物の働きについて資料で調べ、まとめる技能を身に付けることができる。 【知識及び技能】(2)ア(ク)(シ)
- 江戸時代の人々(町人や百姓など)はどのような生活をしてきたか、世の中の様子はどのように変わったのか、現代の生活や出来事とどのような関わりをもっているかなどについて、調べたことを比較したり関連付けたりしながら論理的に考え、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】(2)イ
- 江戸時代の産業の発達により町人が力をつけてきたことや、町人の文化が栄え、新しい学問が起こったことについて、課題解決に向けて意欲的に追究することができる。 【学びに向かう力、人間性等】

2 単元構想図（指導と評価の計画）



3 本時の学習（本時3／10時）

(1) 本時の目標

○江戸時代の町人の生活について調べたことを交流するとともに、調べたことを根拠にしながら、江戸の町に住む人々は幸せであったか否かについて、論理的に自分の考えを表現することができる。

(2) 準備物

- 図書資料（事前に活用した本を準備しておく）
- Chromebook（前時にまとめたスライドを準備しておく）

(3) 学習の展開

学 習 活 動	指導上の留意事項（○）及び「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て（◆）	評価規準（評価方法）及び学校図書館・ICT活用のポイント
<p>1 江戸時代の町人の生活について、各自が図書資料やインターネットで集めた情報を交流し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の町人は米中心の食事。 ・長屋という家で共同生活をしている。トイレも共同で使っていた。 ・一年中火事が多い。また飢饉のために命を落とすことも多かった。 ・平均寿命は今の約半分。医療が未発達で、幼くして命を落とす子が多かった。 ・環境に優しいエコな生活。 <p>2 本時の中心課題を確認する。</p>	<p>○前時までには、児童は江戸時代の町人の生活について、各自図書資料やインターネットを活用して情報を集めている。ここでは自由に調べたことを報告させる。</p> <p>○全体に本の内容（資料）を示したいという児童がいれば、Chromebook や実物投影機を活用して拡大提示を行う。</p> <p>○江戸時代の町人の生活のプラス面だけでなく、マイナス面についてもしっかりと交流させるようにしたい。</p>	<p>学校図書館活用のポイント 自分が活用した図書資料を手元に用意しておく。</p> <p>ICT活用のポイント 必要に応じて自分がまとめたスライドを提示しながら発表させる。</p>
江戸の町に生きる人々は幸せ？それとも不幸せ？		
<p>3 江戸時代の町人が幸福か否かについて、調査したことを根拠に議論を行う。</p> <p>【幸福派】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代になって争いも減り、人々はいきいきと生活している。 ・食べ物が安定している。また、町もにぎわっている。 ・長屋で生活することで、自然と協力する雰囲気生まれていた。 ・環境にやさしいエコな生活。現代のような環境問題がないため、幸せといってよいのでは。 	<p>○まず直感的に幸福か、幸福ではなかったかを数値化させる。議論を行う中で、自分の考えが変わることも大いに認める。</p> <p>○児童が現代と比較して考えようとした際は、その姿を肯定的に評価し、全体に考えを広げさせたい。</p> <p>○児童は5年生時に環境問題についても学習している。環境に優しいという旨の発言がでた際は、現代における様々な環境問題についても想起させたい。</p>	<p>学校図書館活用のポイント 手元の本に、考えの根拠になりそうな情報があれば、大いに活用させる。</p> <p>「江戸時代に生きる人々が幸せか否かについて、調査内容を根拠にしながら、自分の考えを論理的に説明できているか」を評価する。 (行動観察・発言)</p>

<p>【不幸派】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事や飢饉なども多く、今とは比べものにならないくらい大変だった。 ・平均寿命が短いということは、幼くして亡くなった子がたくさんいるのではないか。 ・鎖国政策のため外国との交流も少なく、医療が発展しなかった。 ・そもそも…町人はごく一部。百姓の生活はもっと苦しかったのでは?? <p>4 江戸時代の幸福度を高める方法と現代人が学ぶべき生き方を話し合う。</p> <p>【幸福度を高める方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎖国政策を今すぐにやめる。そうすれば、医療が発達するのでは? ・災害に備えた政治を進める。 <p>【現代人が学ぶべき生き方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコな生き方。環境に優しい生活を行う。 ・互いに支え合い、協力し合う。 <p>5 学習を振り返るとともに、次の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○平均寿命はその時代の幸福度を考える上で貴重なデータであるため、必ず取り上げるようにしたい。 ◆一人の発言について、他者説明を行わせることで、個々の発言の内容を全員が理解できるようにする。 ○前単元で学習した江戸幕府の鎖国政策との関連を図る。 ○百姓について話題が広がった際は、次時以降の課題としたい。 ○「もしも自分が江戸時代の人だったら…」という視点で考えさせる。 ○「医療を発達させる」「災害に備えた政治を行う」等の意見が出た際は、さらに具体的に方法を問うことで、考えを広げられるようにする。 ○ここでは「江戸時代の生活をよりよく改善したい」という思いをしっかりとともたせ、自由な発想を引き出すようにしたい。 ○江戸の町人の幸福度を個人で数値化し、学習のまとめとする。また、次は百姓の学習に移ることを告げる。 	<p>学校図書館活用のポイント 必要に応じて手元の図書資料で調べる時間を設ける。</p>
--	--	--

(4) 板書計画

